

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1308 2024/10/24 (Thu)

発行 広島高校連絡会事務局

Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

天知る 地知る 己知る！

自民非公認候補の支部に、政党助成金(税金)から2000万円

小説「沈まぬ太陽」主人公のモデル小倉寛太郎の言葉

日本航空と、同社社員で同社の労働組合役員である小倉寛太郎の史実に基づいて脚色、再構成された山崎豊子の長編小説。小説では恩地元(はじめ)となっている。

山崎豊子がインタビューで「何故、あのような過酷な待遇に耐えて、組合活動を続ける事が出来たのか？」と問うと、彼は、「『天知る、地知る、^{おのれ}己知る！』がモットーですから」という風に答えたと言っています。

公的なお金(税金)を、自分の懐に移し替えて恥じない、という政治と社会システムが蔓延してきた中では、(悪事が)「バレなければ、何をしても良い」どころか、「バレたら、証拠を隠蔽、消却、(そうそうシュレッダーにかけたこともありましたね。)改竄」を権力をもって行い「忖度」する人々が優遇され、当たり前のことを主張する人は、排除されるそんな景色が広がりました。(公文書改竄を命じられた赤木俊夫さんは、それを苦にして鬱病を発症し自死に追い込まれた)

しかし、「バレなければ…」あったことが無かったことになるのか。誰にも知られなければ、自分の犯した犯罪はなかったこととしては、処罰されないかもしれませんが、「誰にも…」という点に、落とし穴があります。

「己知る」という厳しさ

よく考えると、自分は知っているのですから、「誰にも知られない」という事は、あり得ないことが分かります。それを、天知る、地知るというフレーズで強調したのだと思います。従って、どんなに表面を取り繕っても、人格に品性が失われてゆきます。その毒は、やがて全身に廻って真つ当な生き方が出来なくなることでしょう。

山田洋次監督の言う、「自分が納得できれば良い、と思って(映画を)撮っています」という精神も同じことだと思います。受けを狙うとか、こうすれば興行的に上手くゆくだろうと作った映画は、やがて見捨てられると言います。

今次衆議院選挙の事の始まりから、最後のスクープまで共産党「しんぶん赤旗」が全てを創った

「赤旗が、なければ裏金、裏のまま」「赤旗」に、白旗挙げる自民党(朝日川柳)と言います。23日付の「しんぶん赤旗」が打った4弾目のスクープ(最初が裏金問題のスクープ 第2弾は、裏金問題はないと派閥解消を拒んだ麻生派も裏金。第3弾は旧石破派も裏金問題)で、岸田内閣の支持率低迷から衆議院選挙までの全過程で、激震を発生させてきました。

ところが、マスコミの扱い《東京新聞 望月衣塑子記者》のX(旧ツイッター)より

●「朝日は1面肩=2番手(「・・・新聞協会大賞受賞の時も、赤旗と上脇教授への敬意が感じられない・・・で最後4行で触れただけ。

●読売は2面2弾とめっちゃ小さい。赤旗には冒頭触れる。

●毎日 1面へそ(3番手)前文から赤旗が報じたとの記事。

●産経 2面3段 冒頭から赤旗に触れる。

●NHK ニュース9 触れず

◎中国新聞・東京新聞 1面トップ前文の後に赤旗の報道を受けて、森山幹事長がコメントと報道。

◎ネットは、この記事で溢れんばかり。《国民を馬鹿にするのもいい加減にせよ!》



裏金

「六文銭」はお休みします。◎衆院選挙まであと3日。最期まで闘い抜いたものだけが、勝利する。